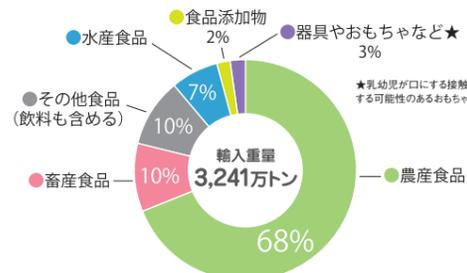


輸入食品の推移

食品等の輸入届出件数・重量推移



食品等の輸入の状況(平成26年度)



輸入食品の約7割を占める農産食品

今や輸入食品なくして日本の食生活は成り立たません。そのため厚生労働省では、国民の「食の安全」を確保するための重要な課題として、輸入食品の安全性確保に取り組んでいます。平成26年度の輸入届出件数は約222万件、輸入届出重量は約3,241万トンでした(折れ線グラフ参照)。その内訳は、約68%が農産食品、次いで畜産食品約10%、その他食品や飲料が約10%、水産食品約7%、食品添

加物約2%、器具やおもちゃなどが約3%と続きます(円グラフ参照)。この輸入届出のうち約20万件を検査し、877件を法違反として積戻しや廃棄の措置をとるなど、水際での輸入食品の安全性確保に取り組んでいます。また、輸出国に対しては、違反原因の調査や再発防止対策を求めるとともに、二国間協議や現地調査などにより輸出国における安全対策の推進を図っています。

食品等輸入届出受付・相談窓口一覧

食品を輸入する際に届出・相談できる窓口は？

国内で販売するために海外から食品を輸入する場合は、その都度、検疫所への輸入の届出が必要です。輸入の届出・相談は、以下の検疫所へお問い合わせください。

検疫所名	住所	TEL
小樽検疫所	〒047-0007 小樽市港町5-2 小樽地方合同庁舎1階	0134-32-4304
千歳空港検疫所支所	〒066-0012 千歳市美々 新千歳空港内	0123-45-7007
仙台検疫所	〒985-0011 宮城県塩釜市貞山通り3-4-1 塩釜港湾合同庁舎2階	022-367-8102
仙台空港検疫所支所	〒989-2401 宮城県名取市下増田字南原 仙台空港新旅客ターミナルビル	022-383-1854
成田空港検疫所	〒282-0021 千葉県成田市駒井野字天並野2159 成田空港合同庁舎2階	0476-32-6728
東京検疫所	〒135-0064 東京都江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎8階	03-3599-1519
東京検疫所(食品監視第二課)	〒273-0016 千葉県船橋市潮見町32-5 船橋港湾合同庁舎	047-437-1381
千葉検疫所支所	〒260-0024 千葉市中央区中央港1-12-2 千葉港湾合同庁舎	043-241-6096
東京空港検疫所支所	〒144-0041 東京都大田区羽田空港2-6-3 羽田空港貨物合同庁舎内	03-6847-9320
川崎検疫所支所	〒210-0869 川崎市川崎区東扇島6-10 かわさきファース物流センター	044-277-0025
横浜検疫所	〒231-0002 横浜市中区海岸通1-1 横浜第二港湾合同庁舎	045-201-0505
新潟検疫所	〒950-0072 新潟市中央区竜が島1-5-4 新潟港湾合同庁舎2階	025-244-4405
小松空港分室	〒923-0993 石川県小松市浮柳町ヨ50番地先 小松空港ターミナル	0761-21-3767
名古屋検疫所	〒455-0045 名古屋港区築地町11-1	052-661-4132
清水検疫所支所	〒424-0922 静岡県清水区日の出町9-1 清水港湾合同庁舎	054-352-4540
中部空港検疫所支所	〒479-0881 愛知県常滑市セントレア1-1 中部空港合同庁舎	0569-38-8195
四日市検疫所支所	〒510-0051 三重県四日市市千歳町5-1 四日市港湾合同庁舎	059-352-3574
大阪検疫所	〒552-0021 大阪市港区築港4-10-3 大阪港湾合同庁舎5階	06-6571-3554
関西空港検疫所	〒549-0021 大阪府泉南市泉州空港南1番地 関西空港地方合同庁舎	072-455-1295
神戸検疫所	〒652-0866 神戸市兵庫区遠矢浜町1-1	078-672-9655
神戸検疫所(食品監視第二課)	〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東4-16 神戸航空貨物ターミナル	078-857-1671
広島検疫所	〒734-0011 広島市南区宇品海岸3-10-17 広島港湾合同庁舎3階	082-255-1379
広島検疫所境出張所	〒684-0034 鳥取県境港市昭和町9-1 境港湾合同庁舎	0859-42-3517
広島空港検疫所支所	〒729-0416 広島県三原市本郷町善入寺字平岩64-31 広島空港ターミナルビル	0848-86-8017
福岡検疫所	〒812-0031 福岡市博多区沖浜町8-1 福岡港湾合同庁舎3階	092-271-5873
門司検疫所支所	〒801-0841 北九州市門司区西海岸1-3-10 門司港湾合同庁舎	093-321-2611
下関分室	〒750-0066 山口県下関市東大和町1-7-1 下関港湾合同庁舎	0832-66-1402
福岡空港検疫所支所	〒812-0851 福岡市博多区大字青木739 福岡空港国際線旅客ターミナルビル	092-477-0208
長崎検疫所支所	〒850-0862 長崎県長崎市出島町1-36 長崎税関庁舎内	095-826-8081
鹿児島検疫所支所	〒892-0822 鹿児島県鹿児島市京町18-2-31 鹿児島港湾合同庁舎	099-222-8670
那覇検疫所	〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎2階	098-868-4519
那覇空港検疫所支所	〒901-0142 沖縄県那覇市字鏡水280 那覇空港新国際線旅客ターミナルビル	098-857-0057

輸入食品相談指導室は各検疫所本所(⇒)に設置しています。

○このパンフレットに関するお問い合わせ先
厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全部 TEL 03-5253-1111

知りたい輸入食品

輸入食品の安全確保

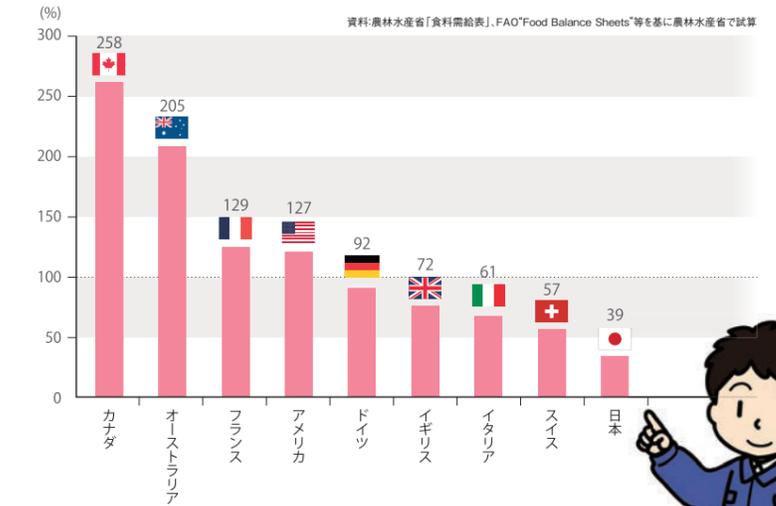


厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全部

日本の食料自給率

諸外国の食料自給率(カロリーベース)

(注)日本は平成26年度、その他は平成23年の値



主要先進国の中で最低の食料自給率

今日のご飯は何を食べたでしょうか？ たとえば、カレーライスであれば、食料自給率(カロリーベース)は56%、食パン14%、ざるそば24%、お好み焼き20%、おにぎり98%となります。国産でまかなえる米が入ると自給率はぐっとアップします。一方、肉類や牛乳・卵など畜産物の飼料は輸入に依存しているため、国内産でも自給率は低くなってしまいます。こうした低い自給率の背景には、魚介類や米食中心の日本型食生活から、肉類や油脂をた

くさん使う食生活へと変化したことが指摘されています。食料自給率とは国内の食料消費が国産でどの程度まかなえているかを示す指標です。日本の食料自給率(カロリーベース)は昭和40年には73%でしたが、平成26年は39%へと低下。フランス、アメリカ、ドイツ、イギリスといった主要先進国と比べると、日本の食料自給率は最低の水準です。その分、輸入食品の比率が高くなっているのです。